

委員会行政視察報告書

| | |
|---|---|
| 委員会名 | 厚生文教常任委員会 |
| 出席委員等 | 堀口武視 委員長、岡田好子 副委員長、松田英世 委員、木下豊和 委員、 中尾広城 委員、成田政彦 委員、松本雪美 委員 【随行】塩谷周平（議会事務局） |
| 実施年月日 | 平成27年7月30日（木）～31日（金） |
| 視察先 | 秋田県秋田市（7/30） 秋田県湯沢市（7/31） |
| 視察項目 | 秋田市「学力向上の取り組みについて」 湯沢市「観光振興の取り組みについて」 |
| 視察内容 | |
| <p>●秋田県秋田市（7/30）</p> <p>最初に、秋田市議会事務局議事課長より歓迎の挨拶を受け、担当課主事より「学力向上の取り組みについて」説明を受ける。</p> <p>秋田市では、平成25年度に教育のめざすべき方向を示した「秋田市教育ビジョン」を策定し、施策の充実を図っている。その中で、学校教育において「自立と共生の力をはぐくむ学校教育の充実」を基本方針とし、「自立と共生」が相互作用によって高められる力であることを踏まえ、子どもたちの発達の段階に応じて、「自立と共生」の力をバランスよくはぐくむよう努めている。</p> <p>小中学校における秋田市のめざす授業のイメージは「わかった・できた」を実感し「もっと学びたい」につながる授業内容の構成である。あくまでも学習指導改善の主体は学校であり、教育委員会は補助として学校を支える。</p> <p>秋田市の主な学力向上の取り組みとして、教職員研修を実施している。専門研修として、各教科の小中合同研修会や全市一斉に行われる授業研究会など、教職員一人一人の資質の向上に努めている。また、教育委員会は定期的に学校訪問を行い、教職員からの生徒や授業についての相談を受け、今後の対応策などを講じる。</p> <p>質疑では、秋田市は全国学力調査でもトップクラスだが、考えられる理由は何か、との問いに、生徒の努力はもちろんのこと、教職員同士の連携が上手く取れていること、また、一人一人に過去の自分の指導を振り返ってもらうことで、今後の授業内容の向上につながっているとのことでした。さらに、任意団体である強化研究会から教職員に対し、それぞれ指導を行ってもらっているのも理由の一つと考えられるとのことでした。</p> <p>以上が、秋田市における視察の概要となります。</p> | |

●秋田県湯沢市（7/ 3 1）

最初に、湯沢市議会副議長より歓迎の挨拶を受け、担当課長より「観光振興の取り組みについて」説明を受け、その後、湯沢市観光物産協会への現地視察を実施。

湯沢市では、平成26年度に湯沢市まるごと戦略会議を設置し、行政と民間事業者等との協働で産業の支援や誘客の推進等地域経済の活性化を図るため、効果の発現が高いと見込める事業の展開を進めている。また、広域での観光振興の取り組みを行っており、秋田県南地域の観光施策の連携を促進し、国内及び国外からの観光客の誘致を積極的に図っている。

湯沢市の観光施策においての最大の課題はアクセスであり、特に秋田空港利用者の市内への呼び込みが困難なため、交通アクセスの整備が急務である。ほかにも交流人口の増加や温泉地としての振興を図ることも今後の課題である。

質疑では、交通アクセスの整備が課題とあるが、具体的な方策はあるのか、との問いに、湯沢市独自では難しいため、広域連携を活用した対策を検討中であるとのことでした。また昨年度より設置しているまるごと戦略会議においても温泉観光に付随した観光周遊ルートの構築を行い、交通アクセスの整備を図っていくとのことでした。

以上が、湯沢市における視察の概要となります。

■総括

2日間両日にわたる視察については、時間的配分の厳しい日程の中、実施しましたが、それぞれの市の担当職員による説明に対し、各委員から活発な質疑が行われ、全体的に充実した内容であり、十分に所期の目的を達成することができたと考えております。

今回の視察により得た内容については、今後の市政に反映させるとともに、市の発展につなげていきたいと考えております。

上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。

平成27年8月5日
厚生文教常任委員会
委員長 堀口 武視

●秋田市視察



秋田市議会事務局議事課長より歓迎の挨拶



堀口委員長より挨拶



会議風景



秋田市役所にて

●湯沢市視察



湯沢市議会副議長より挨拶



堀口委員長より挨拶



岡田副委員長よりお礼の挨拶



湯沢市役所にて